



# 中央地区の樹木 23

## エノキ

・分類…ニレ科 エノキ属

落葉性の高木で二十メートルにも成長する大木です。直径は1メートル以上にもなるものもあり、秋に木の大きさに合わない小さな実をつけます。

神社や寺の境内などに多く

見られ、松本城公園にも何本かのエノキが植えられており、希少なシダレエノキも見られます。木偏に夏と書いてエノキと読みますが、これは夏に大樹が大きな木陰を作ることから夏の木という意味で出来た和字であるそうです。

エノキは国蝶オオムラサキのエサとなる木です。運が良ければ見る事が出来るかもしれませんね。



▲エノキ

## 昭和レトロ 蟻高演劇部

昨年の11月、8ミリフィルムが無声映画に、蟻ヶ崎高校演劇部の皆さんが活動弁士風

にセリフや音を付ける上映会がありました。この取り組みは、蟻ヶ崎高校の文化祭の開催にあたり、生徒さんが近所にお住いの務台秀夫さん宅に挨拶に伺ったのがきっかけで始まりました。務台さんは8ミリフィルムや上映機をお持ちで、老人ホームや公民館でボランティア上映会を開催していました。無声映画はその名の通り映像だけで声や音がありません。

「演劇部の生徒に音を吹き込んで貰ったら、作品にも命が吹き込まれるはずだ。」

務台さんと演劇部の皆さんで映像を確認し、台本や効果音を考え、当日には素晴らしい上映会を開催することが出来ました。この上映会に取り組んだ生徒

さんから感想を頂きましたので掲載します。

■ 松本蟻ヶ崎高校(2年)

■ 演劇部部長 ■ 守屋朋花

四作の無声映像に声と効果音を入れさせていただきました。

約一カ月間、練習用に撮影した編集機の動画に合わせ、台本と音作り、セリフ読みに取り組みました。当日、映写機で見た映像は動きや表情がよく見え、練習の時より声に感情を入れることができました。

しかし、本番では映像が鮮明になったが故のトラブルも発生しました。予定外の映像があるシーンで咄嗟に反応できず無言になってしまったり、セリフが空回りしたりしてしまいました。それでもなんとかその場で対応しようとしたことで、誰かがアドリブを入れるとそれを受けて誰かが繋げる、と連携を取れた時もありました。

上演後、務台さんから「命が吹き込まれた」と言っていただ



務台さん、生徒の皆さんお疲れ様でした!

きました。録音では無いその場限りの作品を生み出すことができたことに達成感がありました。8ミリフィルムを見るのと、身近なものから音を作ることで、マイクを使った演技などどれも貴重な体験になりました。この令和の時代にまさか大正や昭和時代の作品に関わる機会がいただけとは思いませんでした。あいにくの豪雨の中ご来場いただいた方には感謝の思いしかありません。また機会があれば参加してみたいです。

## 長元坊 チョウゲンボウ

### コミュニティカフェ

この頃のカフェは町中や路地裏、そして田舎の古民家等々至る所にそれぞれ特徴を出したお店があります。

その中の一つでコミュニティカフェについて書いてみます。上土町にある「カフェあげつち」は昔近くの化粧品店だった大正時代の建物を松本市



カフェあげつち外観

が移築した、外観そして店内もとても落ち着いた雰囲気のお店です。よく通りすがりの人達が写真を撮ってゆかれます。大正ロマンの街土で賑わいを取り戻そうとしています。

お客様は地区の方はもちろん観光でいらした方、外国の方、そして昔この辺りに住んでいたと言って懐かしいと話してゆかれる方等々、1杯のコーヒーでくつろいでいてくださいます。

スタッフは地区の女性9名が交代で接客をしています。また松本大学の観光ホスピタリティ学科の生徒さんが学びの一環として数名一緒に活動して頂いています。いつも来て頂くお客様には「友達とゆっくり話せる場所が出来て嬉しい」と喜んで頂いています。これからも気軽に立ち寄って頂けるカフェとしてお客様を迎えられる様にしたいと思います。 多湖・佳子



JKPに参加したのは、主事さんに声をかけられたのがきっかけです。もともと公民館には良く来ていたので、目を付けられてしまいました。

①権啓発⑦ロデューサーの頭文字を取ってJKPだそうです。視察先などを決められるということで参加しました。私一人だけでは寂しかったの



私は昭和15年札幌市で、姉一人と五人の男兄弟の真ん中に生まれました。

着る物から教科書・学用品に至るまで、すべてが兄のお下がりであった。そんな環境から抜け出そうと、自立を目指していた私は、父が新潟県の寒村から大志を抱いて渡道した18歳の同い年に、道産子の意地を背負って内地へ渡った。

時は「60年安保闘争」最中の34年、陸上自衛隊に入隊した。制服で街を歩くと、「税金泥棒・安保反対」の声が飛び、時代だったが、在隊中の忘れられない思い出

で、公民館で顔見知りになった方に声をかけました。一緒にJKPに参加してくれた方から、「公民館の会議室より、カフェで打合せがしたい！」と提案があり、カフェあげつちで定期的に集まっています。主事さんが人権に関する資料や、市内の公民館が過去に訪れた視察先を調べてきてくれて、視察先を検討しました。昨年8月には藤村記念館を訪れ、「破戒」や「部落差別」について学びました。3月には

富岡製糸場を見学し、工女の歴史を学びます。事前に工女に関する学習会もやりたいと話が出ています。現在JKPは4名います。ぜひとも一緒に様々な人権について学びましょう。青木 利光



楽しいJKPの打合せ



11月27日に大手公民館で行われた「みんなと公民館で遊ぼう」のスノードーム作りは、参加した小学生に楽しんでもらうだけでなく、自分自身にも多くの学びを与えてくれる体験でした。

スノードーム作りを行っていく中で、ラメなどの細かいパーツの量や、のりと水の分量の調整に特に苦労しました。泡が入らないよう慎重に混ぜたり、ラメが早すぎず遅すぎず綺麗に落ちるよう、試行錯誤しながらのりと水のバランスを整えました。

また、自分の好きな素材を選ぶことで、一人一人の個性が出るオリジナル作品を作り上げることが出来ました。友だちや家族



制作中の様子

完成したスノードーム

とアイデアを出し合い、助け合う姿も多く見られ、とても温かい雰囲気の中で活動を行うことが出来ました。

この体験を通して、子どもたちにも「ものづくり」の楽しさを感じてもらい、これからも公民館のイベントに積極的に参加してもらえると嬉しいです。

松本大学 観光ホスピタリティ学科 3年 保坂 勇樹

## 館報編集委員

### 募集中!!

館報編集委員を募集します。年に6回発行している館報の編集に携わってみませんか。編集委員会を月1回開催し、必要に応じて取材や執筆依頼などを行います。

### (1) 全市版

市内35地区の編集員と一緒に

活動します。主な委員会の会場はMウイングです。

### (2) 地区版

地区住民からなる編集委員会です。大手公民館の活動や地区のことなどを取り上げます。市や地区を深く知る機会となります。ご興味のある方は大手公民館までご連絡ください。

大手公民館 0263-3915711